

打ちたておソバで元気に年越し

いいたて元氣会が今年も手打ちそばのボランティア

12月14日、ホームの新年より一足お先に年越しそばを食べさせたいと、いいたて元氣会（川村武会長）の会員がいいたてホームを訪れ、手作りの

そばをふるまいました。同会では毎年このボランティアを行っており、そば粉は会員が栽培し、会に寄付したものを使っています。



▲そばをふるまいながらお年寄りたちと会話する元氣会のみなさん



午前中、陽だまりの家でそばを打った会員らは、お昼に打ちたてのそばをホームに持参。ホームの職員によってゆでたてのそばが運ばれてくると、室内にそばの香りがただよい、お年寄りたちは元氣会会員らと会話をしながら、おいしそうにそばを食べていました。

また、同会では、毎年の暮れに門松づくりも行っており、役場などの官公署のほか、郵便局などに見事な出来栄の門松を寄付しています。

ミニデイサービス活動紹介

生きがいデイサービス（飯樋）

飯樋4区（飯樋町・前田八和木・大久保外内・上飯樋）では、毎週火曜日に生きがいデイサービスを実施しています。

高齢者の多様な生きがいと社会参加を推進する目的で始まり、今年で4年目になります。年間の事業計画は、参加者の要望を取り入れながら、ミニデイの担当者が決めますが、出前講座で村議会



議員の話の聞いたりするほか、そば打ちに挑戦したり、またお正月にはだんごをさして、いいたてホームに寄贈するなど、毎回趣向を凝らした活動を行っています。

写真は、健康教育の中でタオル体操をしているところです。タオルを補助的に使うことで、体が楽に伸びせ、体操のメニューも広がります。